



古文文法 part1 助動詞入門編

(基本ルール。時に例外あり…)



<p>る・らる <small>じかじゆそん</small> 自可受尊</p> <ul style="list-style-type: none"> 心情・知覚動詞+る・らる → 自発 否定文中 → 可能 尊敬語+る・らる → 尊敬 一に〜る・らる → 受身 	<p>① 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. つゆまどろまれず</p> <p>現代風 </p> <p>イ. テレビドラマを見て泣かる</p>	<p>more! </p> <p>→ ルールはあくまで目安。特に尊敬・受身は文脈。</p> <p>★「れ給ふ」「られ給ふ」は尊敬ではないので(注)</p>	<p>す・さす 使役・尊敬</p> <ul style="list-style-type: none"> 下に“給ふ”がない させ給ふ せ給ふ → 使役 “〜せ給ふ” } → 文脈 “〜させ給ふ” } → 使役か尊敬 	<p>② 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 妻の女にあづけて養はず。</p> <p>イ. 宮は笑はせ給ふ。</p> <p>ウ. 殿は隨身を召して、遣水払わせ給ふ。</p>	<p>+a </p> <p>使役を暗示する動詞に注意しよう。</p> <p>ex “召す” “命ず”</p> <p></p>	<p>ぬ 打消か完了か？</p> <p>まずは上を見よう！</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⓜ +ぬ → 打消 Ⓞ +ぬ → 完了(強意) 						
<p>③ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 我は肉を食ひぬ。</p> <p>イ. 我は肉ぞ食はぬ。</p> <p></p>	<p>more! </p> <p>強意パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ぬべし / ぬらん つべし / つらん てむ / なむ 	<p>④ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 神(雷)落ちぬ。</p> <p>イ. 神(雷)落ちぬべし。</p> <p>ウ. $\left(\begin{matrix} ぞ \\ なむ \\ や \\ か \end{matrix} \right) \text{ --- } \underline{\text{ぬ}}$</p>	<p>なり 伝聞推定？ それとも断定？</p> <ul style="list-style-type: none"> 終止形+なり → 伝推 (ラ変動詞は連体形) 主に 名詞 or 連体形 → 断定 (体言) +なり 	<p>⑤ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. よき方の風なり。</p> <p>イ. うづら鳴くなり。</p> <p>ウ. 信濃にあんなる木曾路河</p> <p></p>	<p>必殺! </p> <p>その前に撥音便って？ ↓コレ!</p> <p>ex あるなり → あんなり</p> <p>あなり</p> <p>“ん”がないことも!</p> <p>Ⓝ な(ん)なり ざ(ん)なり べか(ん)なり</p>	<p>⑦ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. いつしか花咲かむ</p> <p>イ. 心あらむ人こそ</p> <p>ウ. 男はこの女をこそ得めと思ふ</p> <p></p>						
<p>ヒソヒソ話 </p> <p>“壺なる薬”はルールだと断定で「壺である薬」でも $\left(\begin{matrix} \text{壺} \\ \text{薬} \end{matrix} \right) \text{ はヘン}$。正しくは「壺にある薬」。このように断定の「なり」は“存在”を表すことも。</p>	<p>まし ためらいの意志 反実仮想</p> <ul style="list-style-type: none"> 疑問文中 → ためらい (係助詞“や・か”や疑問詞アリ) 〜ば…まし → 反実仮想 (要は Eng の仮定法) 	<p>⑥ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. いかにせまし。</p> <p>イ. 迎へやせまし。</p> <p>ウ. 夢と知りせばさめざらましを</p> <p></p> <p>現代でためらうという、何となく“するのをやめよっかな”という感じを抱いていませんか？ 古文では単に「しようかしら」「どうしようかしら」という不決断です。</p>	<p>む=むず</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人称主語 → 意志 三人称主語 → 推量 二人称主語 → 适当勧誘 文中 → ほぼ婉曲、たまに仮定 	<p>この識別はムズカシイ。参考書には、「こそ〜め」や「〜む」「〜なむ」の形が多いとあるけど、多いというだけで100%ではない…。結局文脈。</p>	<p>⑧ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 山の端なくは月も入らじを</p> <p>イ. わが身は女なりとも敵の手にはかかるまじ。</p> <p></p>	<p>らむ・けむ</p> <p>現在(過去) → 推量</p> <p>まずは「らむ」か「ら+む」かを分けるようになろう</p> <p>→ 自・可・受・尊</p> <p>原因推量</p> <p>伝聞・婉曲</p> <p>u 段音+らむ → 「らむ」でひとかたまり</p>						
<p>What's 婉曲? Enkyoku </p> <p>要は“遠まわし”な表現。「〜ような」と訳出するか訳出なし。</p> <p>彼の顔は $\left(\begin{matrix} \text{犬だ!} \\ \text{犬のような顔。} \end{matrix} \right) \leftarrow \text{ストレート}$ $\leftarrow \text{マイルド}$</p>	<p>じ・まじ まずは…</p> <p>打消推量・打消意志</p> <p>「まじ」には打消当然や不適當・禁止・不可能があるけど、とにかく「打消〜」のイメージをもとう!</p>	<p>⑧ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 山の端なくは月も入らじを</p> <p>イ. わが身は女なりとも敵の手にはかかるまじ。</p> <p></p>	<p>り さみしいりかちゃん</p> <p>サ行 四段</p> <p>未然形 or 已然形 + ら・り・る・れ → 完了存続</p>	<p>⑨ 下線の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 鳥はかごに入れられて</p> <p>イ. 人々笑へり。</p> <p>ウ. ただ木ぞ三つ立てる。</p>	<p>パ音 音で識別</p> <p>a 段音+る・れ → 自・可・受・尊</p> <p>e 段音+る → 完了</p>	<p>⑩ 下線の「らむ」は「らむ」か「ら」と「む」か？</p> <p>ア. 仰せ言をうけたまはらむ。</p> <p>イ. 心に知れらむことを…</p> <p>ウ. 雪とのみこそ花は散るらめ</p>	<p>べし やっかい者! </p> <p>スイカとめて〜</p> <p>推量 意志 可能</p> <p>当然 命令 适当勧誘</p>	<p>ここだけの話… </p> <p>「べし」の識別はムズイ! だから次のことのみ(注)</p> <p>否定文中だと 可能・当然が多い! (〜できる) (〜はず)</p>	<p>⑪ 2010・2008 センター本試</p> <p>下線部の助動詞の意味は？</p> <p>ア. 朝の御面影なるものから</p> <p>イ. 細工はあんなれと</p> <p>ウ. 定まれる夫侍り。</p>	<p>⑫ 2006 センター本試</p> <p>下線部の助動詞の意味は？</p> <p>ア. この世のほかの思ひ出これならんかし。</p> <p>イ. 言はまほしからんことあらば。</p>	<p>今回は比較的分かりやすいものを紹介しました。後日、“助詞”“まじらわしい識別”のシリーズ出します!!</p> <p></p>	<p>詳しいことは RAMS オリジナル 古典文法ポイント集へ</p> <p></p>

解答 ① ア.可能 イ.自発 ② ア.使役 イ.尊敬 ウ.使役 ③ ア.完了 イ.打消 ④ ア.完了 イ.強意 ウ.打消 ⑤ ア.断定 イ.伝聞推定 ウ.伝聞推定 ⑥ ア.ためらいの意志 イ.ためらいの意志 ウ.反実仮想 ⑦ ア.推量 イ.婉曲 ウ.意志 ⑧ ア.打消推量 イ.打消意志 ⑨ ア.受身 イ.完了 ウ.存続 ⑩ ア.「ら」+「む」 イ.「ら」+「む」 ウ.「らむ」(らめ) ⑪ ア.断定 イ.伝聞推定 ウ.完了(存続) ⑫ ア.推量 イ.婉曲